



18世紀に創設された、ロシアで最も伝統あるバレエ団。

マリインスキー・バレエ 白鳥の湖

～全3幕～ チャイコフスキー 作曲
上演時間：約3時間(休憩含む)予定

ロシアバレエの輝く新星
“スコーリク”登場!!



予定ソリスト：オクサーナ・スコーリク(オデット/オディール)
ティムール・アスケロフ(ジークフリート王子)

管弦楽：マリインスキー劇場管弦楽団

台本：ウラジミール・ベギシエフ
ワシリー・ゲルツァー

振付：マリウス・プティパ、レフ・イワノフ

改訂振付：コンスタンチン・セルゲーエフ

2012.12.1 [土] 15:00開演 (14:15開場) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

入場料金(全席指定・税込) S席17,500円 A席14,500円 B席11,500円 C席9,000円 D席7,000円 E席5,000円

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※上記の出演者は、都合により変更する場合がありますので、予めご了承ください。
※開演時刻に遅れますと、休憩まで入場をお待ちいただくか、指定された場所でのお立見のご案内となる場合がございます。時間に余裕を持ってお越しください。

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス ☎0798-68-0255 (10:00～17:00 / 月曜休み ※祝日の場合翌日)

主催 ytv、ジャパン・アーツ、兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 協力 フェスティバルホール事務所



古典の永遠性を
秘めた「白鳥」。
プリンシパルたちが
オデットを競演

Swan Lake
白鳥の湖
~全3幕~

チャイコフスキー 作曲
上演時間：約3時間(休憩含む) 予定

振付：マリウス・プティパ、レフ・イワノフ
改訂振付：コンスタンチン・セルゲエフ

バレエの演目で最も有名な「白鳥の湖」。ロシアの大作作曲家チャイコフスキーの音楽に合わせて作られた「白鳥の湖」は、ボリショイ劇場で初めて披露された時(1876年)には、非常に評判が悪かった。それから何度か再演はされたが、口が経つにつれ劇場の片隅で忘れ去られようとした。1895年、マリインスキー劇場でマリウス・プティパが振付を改訂した「白鳥の湖」が披露された。その時の「白鳥の湖」は、劇場の観客から大絶賛を浴び、現代まで受け継がれている。すなわち、現代のクラシックバレエ「白鳥の湖」は、マリインスキー劇場から始まったとも言える。

マリインスキー・バレエ *Mariinsky Ballet*

ロシア初のオペラとバレエのカンパニーは、1742年、エリザベート皇后によりペテルブルクに創設された。このバレエ団はすぐに、フランツ・ヒルファディングからガスパロ・アンジオリニ、アルチュール・サン＝レオン、マリウス・プティパにいたる、ヨーロッパ最高のバレエマスターたちを魅了した。またルイ・デュポール、マリ・タリオーニ、ファニー・エルスラー、ヴァージニア・ツッキ、ピエリーナ・レニャーニ、カルロツァ・ブリアンツァ、エンリコ・チェケッティら外国のスターダンサーたちも、ペテルブルクの舞台に招かれて踊った。そしてロシアにも振付家のイワン・ワルベルク、レフ・イワノフ、ダンサーのデモフェイ・ブプリコフ、エソグニヤ・コロソワ、アフドチヤ・イストミナ、ニコライ・ゴルツ、エレナ・アンドレヤノワ、オリガ・ブレオブラジェンスカヤ、マチルダ・クシェンスカヤ、パーヴェル・グルトラ、彼らに劣らぬ才能をもつ人々が登場した。

19世紀末、ペテルブルクのバレエ団は世界最高のカンパニーのひとつとして定評を得ていた。ここで生まれた《眠れる森の美女》(1890年)、《くるみ割り人形》(1892年)、《白鳥の湖》(1895年)、《ライモンダ》(1898年)などは、今では世界のバレエの至宝と考えられている。セルゲイ・ディアギレフが組織した伝説的なバレエ・リュスは、20世紀初頭にロシア・バレエの名声をいっそう高めることになった。彼らはヨーロッパにミハイル・フォーキンの革新的な作品や、ジャン・バヴロワ、タマラ・カルリヴィチ、ワツラフ・ニジンスキーら、才能ある踊り手を紹介したのである。

ソヴエト時代には、後にモスクワのボリショイ劇場などロシア中の劇場で活躍する、数多くの輝かしいバレエマスターやアーティストが生まれた。フォードル・ロプホフ、ワシーリー・ワイノネン、ロスティスラフ・ザハロフ、ワフタング・チャブキアーニ、レオニード・ラヴロフスキーが新しいバレエを作り、レオニード・ヤコブソンとイーゴリ・ペリスキーは実験的な作品を創造した。ユーリー・グリゴロヴィチはレニングラードでキャリアをスタートさせた。オリガ・スベシツェワ、ジョージ・バランシン、マリナ・セモノワ、ガリーナ・ウラーノワ、ナターリヤ・ドゥジンスカヤ、コンスタンチン・セルゲエフ、イリーナ・コルバコフ、ルドルフ・メレーエフ、ナターリヤ・マカロワ、ミハイル・バリシニコフは、かつてはマリインスキー劇場の舞台で踊っていた。バランシンやアントニー・チュエダー、ジェローム・ロビンズ、ローラン・プティ、モーリス・ベジャール、ケネス・マクミランやその他の最高の振付家たちの作品を、マリインスキー劇場バレエが上演したが、これはロシアでは前例のない出来事だった。劇場の現芸術監督のワレリー・グルギエフは、古典のレパートリーを完璧にするとともに、20世紀の傑作を手中に収めることで、劇場はさらなる発展を遂げると考えている。

オクサーナ・スコリック
Oxana Skorik



ウクライナのハリコフ生まれ。2007年にベルギー国立舞踊学校を卒業し、マリインスキー・バレエに入団した。《ラ・シルフィード》(ジゼル)のタイトルロール、《眠れる森の美女》のミラの情とフロリアン主女、《白鳥の湖》のオデット/オアティールと2羽の白鳥、《ドン・キホーテ》の森の女王、《ワ・バヤテール》の3人の精霊、フォーキン振付《シロビーアーノ》、バランシン振付《セレナード》などをレパートリーとしている。



ティムール・アスケロフ
Timur Askerov

アゼルバイジャン共和国のバクー生まれ。2008年にバクー舞踊学校を卒業し、アゼルバイジャン国立ミルリ・ファタリ・アフンドフ・オペラ・バレエ・アカデミー劇場と契約した。'09~'11年にキエフ・バレエで踊り、'11年にマリインスキー・バレエに入団。《ジゼル》のアルブレヒト、《白鳥の湖》のエウ、バランシン振付《バレエ・インベリアル》、アロンソ振付《カルクメン編曲》のホセなどをレパートリーとしている。

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急「西宮北口」駅 南改札口 スグ JR「西宮」駅より徒歩15分(阪急バス7分)

入場料金(全席指定・税込).....

S席17,500円 A席14,500円 B席11,500円
C席9,000円 D席7,000円 E席5,000円

ご予約・お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255

10:00~17:00 / 月曜休み ※祝日の場合翌日

7/14(土) 芸術文化センター 会員電話予約

7/15(日) 一般発売

※窓口での販売(残席ある場合)は、7月16日(月・祝)より

インターネット予約はこちら → <http://www.gcenter-hyogo.jp>

※来観学習のご入場は、ご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※最終的な配役は、公演当日ロビーにて行います。※場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話のご使用は固くお断り致します。
※開演時間に遅れますと、休憩まで入場をお待ちいただくか、指定された場所でのお見立のご案内となる場合がございます。時間・余裕を持ってお越しください。

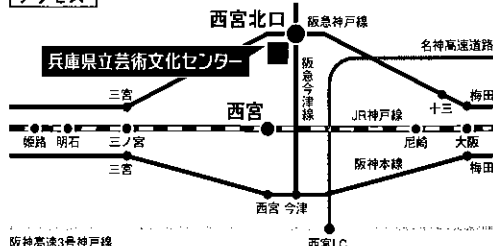
チケット取扱いプレイガイド ※プレイガイドでのお取扱いについては、各プレイガイドにお問合せください。

◎チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:420-555)

◎ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応) 0570-084-005(Lコード:52448)

◎イープラス <http://eplus.jp>(PC&携帯)

アクセス



◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。